

クリストフ・ソーターの

「ビーンヴェニュー・アン・スイス」



スイスの移牧

“アルプスの少女ハイジ”というアニメは日本全国で知られています。ハイジのアルプス山脈における生活は子供も大人も強い印象を受けたのではないのでしょうか。アルプス山脈で生まれたハイジの生活はスイスの山岳地帯に暮らしている飼育者たちの生き方に基づいて作られた作品です。今回は山の飼育者の生活における重要な慣習について話したいと思います。それは“スイスの移牧”です。

ハイジとおじいさんとペーターの生活様式は移牧というスタイルで、日本では夏山冬里式放牧と呼ばれています。スイスの国土は面積が小さくて山ばかりの国なので、耕地面積率は10%ほどしかありません。また、かつて氷河に侵蝕された土地の生産性は低いため、農業を発達させることが出来ていません。この事態を改善するように、飼育者たちは山の標高差を利用して垂直方向に家畜を移動させる牧畜業を発達させました。夏では高地牧場の一部は涼しく、牧草が一面に生えるので、牧畜業者は牧童を伴って2000～3000メートルの山地に登り、放牧に適しているアルプス山脈の高山牧場で乳牛を放牧します。そして、アルプスの山地に雪が積もる冬になると、山麓に下り、低地の牧場で舎飼いをを行います。アルプスの少女ハイジのアニメでは羊とヤギを移牧させますが、スイスでは普通は乳牛です。

スイスの移牧に際し、行事は沢山ありますが、フリブール州のグリュイエール地域で行われる“移牧祭り”は特に有名です。この祭りは9月に行われ、家畜は高山牧場から下り、平地の方へ戻っていく事を祝います。又は6月から9月にかけて高地で牧畜業を営んだ飼育者たちへ敬意を表す行事です。飼育者たちは民俗衣装を着、花の飾りを付けられた牛や牧童、山羊、羊の群などを連れて集落を通り抜けます。又はいくつかの場所で特産物の市場が営業され、伝統的な舞踊や民謡の野外コンサートなどが開かれます。牧歌的な祭りだけではなく、“移牧祭り”は現在もなお歴史に深く根をおろしています。

それで皆さん、6月と9月の間にスイスを訪れる機会があれば、是非グリュイエール地域の“移牧祭り”に参加し、ハイジの生活を味わってみてください。

最後に、今回のフランス語の言葉は「Bonne journee ボン・ジュールネー」を覚えましょう。「良い一日を！」を意味します。

では、また来月によろしくお願いします。



シャルメイ（フリブール州）の移牧祭